

上部消化管内視鏡検査 説明・同意書

私は患者 _____ さんに対して、上部消化管内視鏡検査に関して、検査・麻酔の必要性、危険性及び合併症などについて、次のように説明しました。

<検査目的>上部消化管とは食道・胃・十二指腸を指します。これらの場所にできる病気（炎症・潰瘍・ポリープ・癌・静脈瘤など）を見つけ、適切な治療方法を考えるために行います。

<方法>まず、胃の中を見やすくするシロップを飲んでから、のどをゼリー状の麻酔薬で麻酔します（鼻から内視鏡を挿入する場合は鼻を麻酔します）。その後消化管の動きを抑える薬を筋肉注射します。消化管の動きを抑える薬を胃に散布する場合があります。緊張が強い人には、時に、検査が楽に受けられるように鎮静薬の注射をして少し眠くなった状態にして検査をすることもあります。その場合は、半日くらい眠気が続くこともありますので、検査当日は絶対に車、バイク、自転車の運転をしないでください。

内視鏡を口から挿入し、上部消化管を観察します。消化管に異常が疑われる場合には、小さな組織を採取して、顕微鏡検査で良性か悪性かの判断をしたり(病理組織検査)、細菌などの培養検査をします。採取するのに特に痛みはありません。また、消化管粘膜に色素を散布して病変を明瞭にしたり、出血がみられた場合にはクリップなどを用いて止血処置を行います。内視鏡の挿入に伴い、咽頭痛（のどの痛み）が生じることがありますが、通常、自然に治癒します。

内視鏡は検査毎に十分な洗浄と消毒を行っていますので、内視鏡を介してのウイルスなどの感染はまずありませんが、必要に応じて、事前に肝炎ウイルスなどの感染症の有無を調べるための血液検査をします。

<偶発症について>精密な検査ほど、偶発症の頻度が増加します。この検査では、のどの麻酔薬によるショック、内視鏡操作によって起こる出血や穿孔などが主な偶発症ですが、日本消化器内視鏡学会が調査した全国集計（2010年）によるとその頻度は0.005%、死亡率は0.0002%でした。万一、偶発症が生じたときは外科処置を含めた最善の処置をいたします。

年 月 日

医師： _____ 印

私は、上記内容の説明を受け、同意しました。また、上記実施中に必要な操作と、これらの目的にかなった全身、またはその他の麻酔を受けることも同意しました。

年 月 日

患者(または代理人)氏名 _____ 印

住所 _____

大和高田市立病院長 殿

ID
氏名 _____ さん

外来カルテ用

上部消化管内視鏡検査 問診票／医師指示書

安全な検査を行うために、下記の質問にお答えください。

1. 内視鏡検査を以前に受けたことがある。	(ある ・ ない)
2. ピロリ検査を受けたことがある。	(ある ・ ない)
3. 緑内障(眼圧が高い)と言われたことがある。	(ある ・ ない)
4. 心不全・狭心症・不整脈など心臓病がある。	(ある ・ ない)
5. 男性の方で前立腺肥大(排尿困難)がある。	(ある ・ ない)
6. 糖尿病と言われたことがある、または、糖尿病の治療を受けている。	(はい ・ いいえ)
7. 薬に過敏で、アレルギー体質である。 薬品名 _____	(はい ・ いいえ)
8. 食物アレルギーがある。 食物名 _____	(ある ・ ない)
9. ゴム製品(ラテックス)アレルギーがある。	(ある ・ ない)
10. 歯の治療による麻酔で蕁麻疹などアレルギーがでたことがある。	(ある ・ ない)
11. 心臓病や血管の病気、脳卒中などでバファリン、バイアスピリン、パナルジン、 プレタールやワーファリンなど、血液をサラサラにしたり固まりにくくする薬を飲んで いる。 薬品名 _____	(はい ・ いいえ)
12. 身長 _____ cm 体重 _____ Kg	
13. その他の病気や症状があれば記入してください。	

医師指示欄	【指示日】	年	月	日
	【指示医】	_____		
虚血性心疾患、不整脈、心不全、緑内障、前立腺肥大	あり	なし		
検査前薬	ブチルスコポラミン	グルカゴン	ミンクリ	なし
キシロカイン禁忌	あり	なし		
中止薬	あり	なし	薬品名 _____	
生検	可	不可		
_____ 医院・診療所・クリニック 指示医 _____				

確認者サイン _____

ID

氏名

さん

上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)を受けられる患者さんへ

1) 検査前日 (月 日)

食事は夜9時までには軽く済ませて、以降は、水かお茶かスポーツ飲料のみを摂取してください。

2) 検査当日 (月 日)

1. 普段飲まれている降圧剤(血圧の薬)、抗不整脈剤などの**心臓の薬**、**精神科の薬**は、朝起床時(検査3時間くらい前までに)、コップ一杯の水で服用してください。それ以外の薬は飲まないでください。**抗凝固薬**に関しては、下記の3)の指示に従ってください。他には、朝食はもちろん、牛乳・コーヒーなど、一切、摂らないでください。タバコもお控えください。検査3時間前までは、お水は飲んでいただいてもかまいません。
2. 午前・午後 時 分までに地域医療連携センター(正面玄関入って左)にお越しください。タオルを一枚持参してください。

3) 抗凝固薬の中止・再開について

消化管に異常が疑われる場合には、小さな組織を採取して検査をすることがありますが、少量出血しても通常自然に止血します。しかし、心臓病や血管の病気、脳卒中などで**血液をサラサラにしたり固まりにくくする薬(抗凝固薬)**を飲んでいる方は、薬を中止していただく必要があります。但し、中止により心臓病や血管の病気、脳卒中などの病状が悪化する場合がありますので、下記の医師の指示に従ってください。

医師指示

【指示医】 _____

上部消化管内視鏡検査 予定日 _____ 年 月 日 時

中止する薬剤 あり なし

_____ : _____ 年 月 日 から中止

_____ : _____ 年 月 日 から中止

_____ 年 月 日 から再開

インスリンを注射している方は、注射するかどうか、注射するインスリン量を変更するかどうか等、主治医の指示に従ってください。

_____ 年 月 日

_____ 医院・診療所・クリニック 指示医 _____

4) 鎮静薬について

希望される方には、検査が楽に受けられるように鎮静薬や鎮痛剤の注射をして少し眠くなった状態で検査をします。鎮静薬の効果は人によっても異なりますが、半日くらい眠気やフラフラ感が続くこともありますので、検査当日帰宅される方は、できれば付き添いの方と一緒に来院してください。無理なら、公共交通機関やタクシー等で来院してください。検査当日は、絶対に、車、バイク、自転車の運転をしないでください。検査当日運転して帰宅される方には、鎮静薬を使用できません。

大和高田市立病院 内視鏡センター

(0745) 53-2901 (病院代表)